

ゆび募金<sup>®</sup>

認定NPO法人  
ジャパン・カインドネス協会<sup>®</sup>

活動報告書  
2019-2020

TOPICS

- ゆび募金2019年度実績
- がんサバイバーの支援
- 小・中学生の学習支援
- 新たな基金の立ち上げ



## 私たちの活動理念

### 『きもちをつなぐ』

#### 日本の寄付文化の裾野を広げ、社会貢献活動を推進する

寄付型自動販売機「ゆび募金」の普及を通じて、気軽に寄付できる場を提供し、社会貢献活動を推進します

#### 支援を必要とする人を支援の場や人につなぐ

支援を必要とする人のニーズをくみ取り、支援する人や場につなぐ架け橋になります



## 数字から見る 2019 年度活動実績

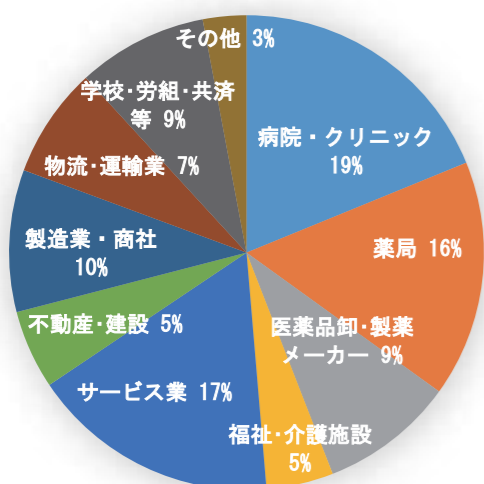
年間寄付金額 **719 万 7,913 円**

2019 年度の年間寄付金総額です。  
お預かりしている寄付金を半年ごとに取りまとめ、2020 年 2 月と 8 月に各寄付先団体に送金しました。

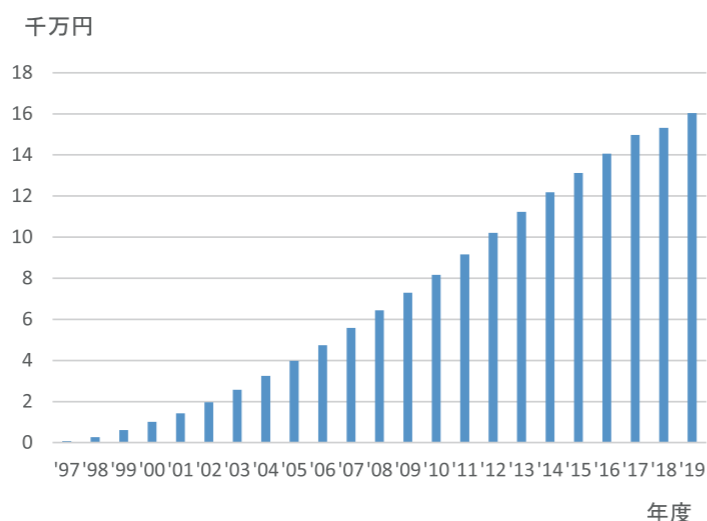
累計寄付金額 **1 億 6,041 万 3,115 円**

1997 年の創立以来の累計寄付金額です。小さな寄付の積み重ねが、継続することで大きな力になります。

【支援企業・団体様の業種】



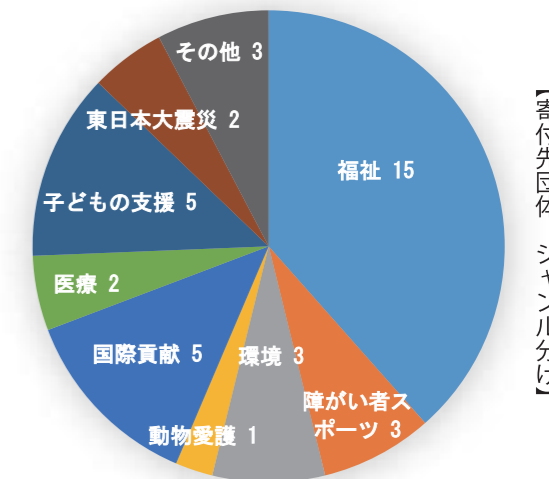
【創立以来の累計寄付金額】



## 寄付先団体数 39 団体

現在、ゆび募金の寄付先として登録されている団体は、様々なジャンルから 39 団体あります。

寄付先団体の活動状況をお知らせするなどして、公益活動団体と支援者の皆様の間をつなぐ架け橋になることも、私たちの大事な役割のひとつです。



【寄付先団体ジャンル分け】

【寄付先団体別 年間寄付金額】

福祉 (15団体)	年間寄付金額	国際貢献 (5団体)	年間寄付金額
公益財団法人 日本盲導犬協会	1,317,212	認定NPO法人 国境なき医師団	445,024
公益財団法人 日本補助犬協会	81,912	認定NPO法人 国連UNHCR協会	79,052
公益財団法人 北海道盲導犬協会	13,473	認定NPO法人 国連WFP協会	586,610
公益財団法人 九州盲導犬協会	232,986	認定NPO法人 世界の子どものワクチンを日本委員会	240,377
社会福祉法人 東京都手をつなぐ育成会	41,584	NPO法人 日本医療開発機構	57,718
社会福祉法人 あかぎの響	80,405	医療関係 (2団体)	
社会福祉法人 愛誠会	58,166	認定NPO法人 日本IDDMネットワーク	5,525
埼玉県自閉症協会	69,421	公益財団法人 日本対がん協会	922,918
NPO法人 希親会	3,833	子どもの支援 (5団体)	
社会福祉法人 産経新聞明日への旅立ち基金	23,924	公益財団法人 メイク・ア・ウィッシュ オブジャパン	246,933
NPO法人 日本ウェルフェアサポート協会ココム	8,113	公益財団法人 漁船海難遺児育英会	241,774
NPO法人 心のバリアフリー仲間	3,918	公益財団法人 交通遺児等育成基金	4,193
社会福祉協議会 (3ヶ所)	13,048	公益社団法人 家庭養護促進協会	26,073
障がい者スポーツ (3団体)		NPO法人 子どもプロジェクト	7,075
一般社団法人 日本車いすテニス協会	5,955	動物愛護 (1団体)	
NPO法人 日本障害者スキー連盟	37,455	公益財団法人 動物臨床医学研究所 「人と動物の会」	46,424
一般社団法人 全日本知的障がい者スポーツ連盟	24,488	東日本大震災 (2団体)	
環境 (3団体)		東北3.11基金	1,504,879
公益財団法人 日本自然保護協会	146,917	認定NPO法人 沖縄・球美の里	354,515
公益財団法人 緑の地球防衛基金	83,765	その他	
NPO法人 緑のカーテン応援団	81,855	NPO法人 マザーズサポーター協会	12,653
		NPO法人 ポジティブ・フロム・ジャパン	70,189
		特定失踪者問題調査会	17,551

## クリスマスプレゼント 334 個

毎年クリスマスの時期に、クリスマスカードを添えてプレゼントをお届けしています。2019 年度も、児童養護施設や福祉施設など 7 ヶ所に計 334 個をお贈りしました。



## 2019年度 新規事業「がんサバイバー支援 Can+s」



# Can+s Yoga!

## がんサバイバーの女性のためのヨガ教室 オンラインレッスン開始!

4月に開始予定だったキャンズ・ヨガは、新型コロナウイルスの影響で、スタジオでの開催を見送り、6月よりzoomによるオンラインレッスンという形でスタートしました。月1回のペースで開催を重ねるにつれ、何度も参加して下さるリピーターや、九州や関西からも参加されるなど、少しずつ輪が広がりつつあります。レッスン後には、先生からがんの術後の体の変化や動かし方に関するアドバイスをいただいたり、参加者同士がリモートでがんに関わる不安や悩みを共有するなど、交流する時間を持つこともできました。ヨガを通じて、自分の心と体の状態を受け止めて、前向きになれるように。そして同じ経験をした仲間同士で交流することで、孤独感を軽減できることを目指し、今後も実施していきます。

実施：2020年6月～12月 第2水曜日 計7回

場所：zoomによるオンラインレッスン

参加人数：延べ47人

参加者の声：「がんであることを隠さずに参加できるので嬉しい」  
「術後の体のことなど、先生のアドバイスがとても参考になる」  
「とても雰囲気がよく、みんなが笑顔なので安心できた」  
「がんになって孤独な気持ちだったので、オンラインでも話が出来て楽しかった」



毎月第2水曜日 午前10時～  
zoomによるオンラインにて  
<https://www.jkkyoukai.com/cans/>



本事業は、公益財団法人草の根事業育成財団「2020年草の根育成助成」を受けています



## ピンクリボンイベントを開催!

10月のピンクリボン月間にあわせ、私たちの事務所のある東京都国立市で、ピンクリボンイベントを開催しました。すべての女性に乳がんを「他人ごと」ではなく「自分ごと」として考えてほしい。多くの方に立ち寄っていただき、このメッセージをお届けすることができました。

実施：2020年10月17日(土)～19日(月)

場所：JR国立駅前 旧国立駅舎

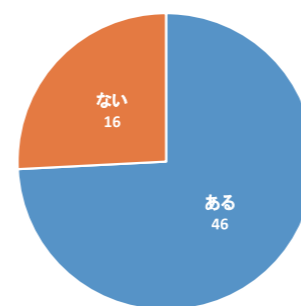
協力：公益財団法人日本対がん協会 後援：認定NPO法人乳房健康研究会

内容：パネル展示(乳がんとは?/早期発見の大切さ/セルフチェックのやり方 など)  
リーフレット配布(乳がんQ&A/PINK RIBBON BOOK/セルフチェックシート など)  
乳がん触診モデル展示、ピンクリボンバッジ配布、アンケート実施 など

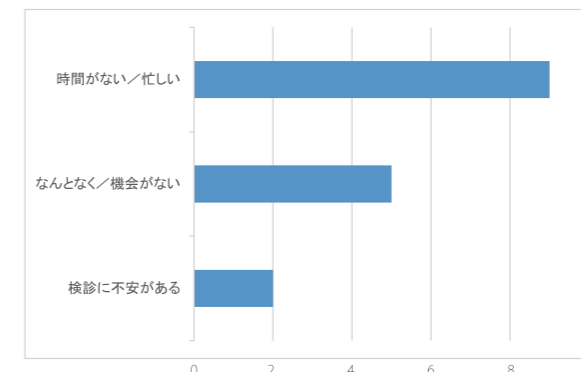


### 【会場で実施したアンケート結果】

Q. 乳がん検診を受けたことがありますか?



Q. いいえと答えた方へ。その理由は何ですか?



イベント期間中、シンボルカラーのピンクにライトアップされた旧国立駅舎

# 2020年度 新規事業 「小・中学生のための無料の学習支援 くになたち Cozy Space」



後援  
国立市／国立市教育委員会

2020年9月より、東京都国立市の本会事務所にて、市内の小・中学生を対象にした学習支援スペース“くになたち Cozy Space”を開設しました。

かねてより、地域に根付いた活動、その中でも子ども支援に取り組みたいと考えていたところ、自治体からの呼びかけもあり、子どもたちの学習支援に取り組むことになりました。

新型コロナウイルスによる長期間の休校は、改めて「学習機会の格差」「子どもたちの居場所」といった問題を浮き彫りにしました。私たちは「子どもたちの学習機会の格差をなくすこと」「学校・家庭以外の第3の居場所になること」を目指し進めていきます。

あらゆる環境の子どもに機会を提供するため、無料での開講とします。そのためには、安定的な財源の確保も重要な課題です。また、エリア性の強い事業のため、地域との連携も大切なポイントになります。今後も、地域の自治体や他団体に対し本事業への理解と協力を求めながら、活動を継続していきたいと考えています。

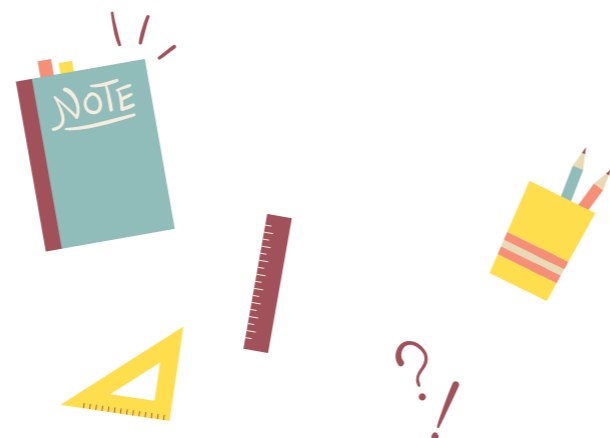
実施：毎週火曜日 小学生 16:15～18:00  
中学生 17:00～19:00

場所：本会 事務所内

後援：国立市 / 国立市教育委員会

実施回数：14回 (2020.9～12月)

参加人数：延べ37名  
講師3名 (2020.12月末現在)

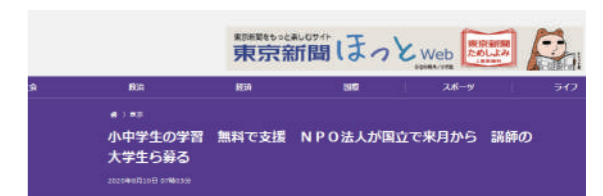


## 《メディア掲載》

東京新聞『地域欄』(2020.8.10)

J:COM『ジモト応援！東京つながるNews』  
(2020.8.20)

地域情報誌『くになたちプラムジャム通信』  
(2020.10月号)



国立市の認定NPO法人「ジャパン・カントナス協会」は九月から、市内の小中学生を対象にした無料の学習支援を始め、読書や勉強を助える学生らを募集している。協会マネージャーの渡辺かおるさん(54)は「勉強の習慣を身に付ける機会や学校以外の居場所として活用してほしい」と呼びかけている。

協会は、自動販売機を利用して寄付を募る「ゆび募金」を主催し、種々なスポーツや趣味の施設に



<https://www.jkkyoukai.com/cozyspace/>



# 2020 年度基金について

## 東北 3.11 基金

東北 3.11 基金では、東日本大震災で被災した子どもたちを支援している団体を対象に、年に一度、助成団体を公募・選考しています。2020 年度はこの 3 団体に決定しました。

### 特定非営利活動法人 **ふくしま30年プロジェクト** ～ 田んぼと里山 米づくりと自然体験活動 ～

東日本大震災による原発事故から9年が経ち、福島県内では市街地の除染が進む一方、里山や農地の除染は進んでいません。そのため子どもたちが、自然の中で土に触れる機会が制限される状況が続いています。

本事業では、福島市、伊達市の子どもたちとともに、年に数回、山形県大江市の農地に行き、田植え・草取り・稲刈り等の農業体験や里山での自然体験を行います。これらの活動を通して食の大切さ、仲間と協力し合う大切さ、自然の豊かさを知り、課題解決能力や豊かな人間性などの「生きる力」を育みたい。



### 北上 まちかど保健室

宮城県石巻市北上地区では、東日本大震災により人口の流出が続き、小学校が統合されたことにより、コミュニティが作られにくい環境にあります。子どもたちはバス通学となり、放課後気軽に遊ぶことができず、保護者が集う機会も減っています。本事業では、小・中学校の養護教諭として37年務めてきた代表が中心になって、北上まちかど保健室を設立。子どもたちの居場所、保護者や地域の人々の交流の場、子育て相談の拠点となることで、地域の希望である子どもたちを中心に、地域コミュニティの再生を目指したい。



### 一般社団法人 **ワタマスマイル** ～ かつま地域子ども食堂 ～

宮城県石巻市はひとり親世帯の割合が多く、震災を経てその数は増加、今年は新型コロナウイルスの影響による親の失業等で、さらに貧困家庭が増加しています。

十分な食事が取れない、家庭での居場所がない、不登校になっているなど、困窮している子どもたちの支援のため、子ども食堂と学習支援を行なっています。

学校、PTA、社協、自治会などを含む「かつま地域子ども食堂実行委員会」を結成し、子ども食堂の運営とともに、課題を抱えている子どもたちを支援につなげるべく市の支援課や福祉課などと連携していきます。



## パーソナル基金（仮称） ～あなたが考える社会問題を解決するために

パーソナルな（あなただけの）基金を作ることができます。個人・法人いずれも大丈夫です。パーソナル基金にすることで、「誰に」「どこに」寄付をし、「どのように」「なんのために」使ってもらいたい、まで指定することができます。大切なご寄付の行き先を最後まで見届けることのできる、新たな寄付の形です。

- step1 相談・設計  
～基金名や寄付したい分野などを決めます
- step2 寄付先の公募
- step3 審査→決定  
～寄付先の決定は、本会独自の審査基準にて行います
- step4 成果確認・報告  
～寄付先の活動を確認し、報告します  
本会 web サイトに基金名と支援成果を開示します



## 多摩地区子ども基金（仮称）

「多摩地区の子どもを支援する」 + 「多摩地区で活動する団体を支援する」  
地域の子どもの成長を地域で支援することに特化した基金です。

- step1 ご寄付  
～広く寄付金を募集します
- step2 寄付先の公募
- step3 審査→決定  
～書類審査だけでなく、地元ならではのフットワークを活かし、訪問での活動確認を行なっていきます
- step4 成果確認・報告  
～寄付先の活動を確認し、報告します  
本会 web サイトに支援成果を開示します



# 2019 年度会計報告

# 認定NPO法人 ジャパン・カインドネス協会について

## 正味財産増減計算書 (2020年8月31日現在)

		当年度 2019年度	当年度 2018年度
経常収益	賛助会員受取会費	90,000	80,000
	受取寄附金	26,494,462	30,101,779
	事業収入	321,950	407,500
	その他	100,000	0
	合計	27,006,412	30,589,279
経常費用	事業費	21,026,219	22,045,221
	管理費	4,462,628	5,319,462
	合計	25,488,847	27,364,683
当期経常増減額	一般正味財産当期増減額	1,552,618	3,224,635
	一般正味財産期首残高	4,076,076	851,441
	次期繰越正味財産期末残高	5,628,694	4,076,076

## 貸借対照表 (2020年8月31日現在)

		2019年度	2018年度		
資産の部	1.流動資産	現金預金	6,344,042	5,540,297	
		流動資産合計	6,344,042	5,540,297	
	(1)有形固定資産	車両運搬具	1	188,958	
		什器備品	276,171	0	
		(2)投資その他の資産	敷金	550,000	550,000
			固定資産合計	826,172	738,958
			資産合計	7,170,214	6,279,255
負債の部	1.流動負債	未払金	0	100,500	
		借入金	1,500,600	2,000,600	
		預り金	40,920	92,079	
		仮受金	0	10,000	
		流動負債合計	1,541,520	2,203,179	
	負債合計	1,541,520	2,203,179		
正味財産の部	前期繰越正味財産	4,076,076	851,441		
	当期正味財産増減額	1,552,618	3,224,635		
	正味財産合計	5,628,694	4,076,076		
負債及び正味財産合計		7,170,214	6,279,255		

## 役員のご紹介

理事長 <b>松谷 高顕</b> 東邦ホールディングス株式会社 相談役	理事 <b>高野 秀一</b> 公益財団法人日本盲導犬協会	理事 <b>前田 定男</b> 株式会社相武企業 代表取締役
理事 <b>亀岡 加奈枝</b> 事務局長 兼務	理事 <b>津上 仁志</b> 東京都世田谷区議会 議員	理事 <b>村山 伸一</b> 株式会社誠和 代表取締役
理事 <b>小川 友一</b> 一般社団法人パートナーズ・コンサル 代表理事	理事 <b>津田 浩一</b> 株式会社大和組 代表取締役	理事 <b>村山 壽明</b> 三機商工株式会社 取締役会長
理事 <b>久力 和夫</b> 事務局 兼務	理事 <b>中田 利明</b> 株式会社オール・ピー・スタッフ 代表取締役	監事 <b>岩城 康雄</b> ボランティア担当
理事 <b>佐々木 義明</b> 一般社団法人盲導犬総合支援センター	理事 <b>樋山 真一</b> 政党支部役員	

## これまでの主な活動

- 1997年8月8日 ジャパン・カインドネス協会創立  
募金型自動販売機「ゆび募金」の普及を始める
- 2003年5月8日 NPO法人取得（内閣府）
- 2008年2月 累計寄付金額が5,000万円に到達、寄付先は21団体に
- 2011年3月 東日本大震災発生を受け、緊急支援開始  
（その後も寄付を継続。2020年6月末現在で、日本赤十字社、現地NPO等に  
総額2,360万5,028円を寄付）
- 2013年10月 累計寄付金額が1億円を超え、寄付先は41団体に
- 2017年6月7日 東京都より「認定NPO法人」として認定される
- 2017年9月 創立20周年を迎える
- 2018年10月 亀岡加奈枝が新事務局長に就任
- 2019年6月 累計寄付金額が1億5千円を超える
- 2020年6月 新規事業「がんサバイバーの女性支援“Can+s Yoga”」スタート
- 2020年9月 新規事業「小・中学生のための無料の学習支援  
“くにたち Cozy Space”」スタート

# 皆様のご支援をお願いいたします



## 自動販売機でできる社会貢献

ゆび募金<sup>®</sup>

- 飲料1本につき2円が寄付になります
- 支援団体（寄付先）が選べます
- 導入費用はかかりません（月々の電気代のみ）
- 自販機の管理、寄付に関わる事務処理などのお手間はかかりません



## 本会事業へのご支援

新たに取り組みを始めた事業等へ、ご支援をお願いいたします

- 子どもたちのための学習支援と居場所づくり
- がんサバイバーとその家族の支援
- その他

### 寄付金のお振込口座

<振込先> ゆうちょ銀行

<口座番号> 00170-1-0588217

<加入者名> (特非)ジャパン・カインドネス協会

<振込先> ジャパンネット銀行 本店

<口座番号> 6755369

<加入者名> (特非)ジャパン・カインドネス協会

※本会は認定NPO法人です。

NPO法人の中でもより厳しい一定要件を満たしている団体に交付される資格で、

認定NPO法人に対する寄付は、税制上の優遇措置の対象となります。

## 認定NPO法人 ジャパン・カインドネス協会<sup>®</sup>

〒186-0004東京都国立市中1-18-41栄ビル301 TEL:042-571-2233

公式webサイト  
[www.jkkyoukai.com](http://www.jkkyoukai.com)



公式facebook  
jkkyoukai



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています